

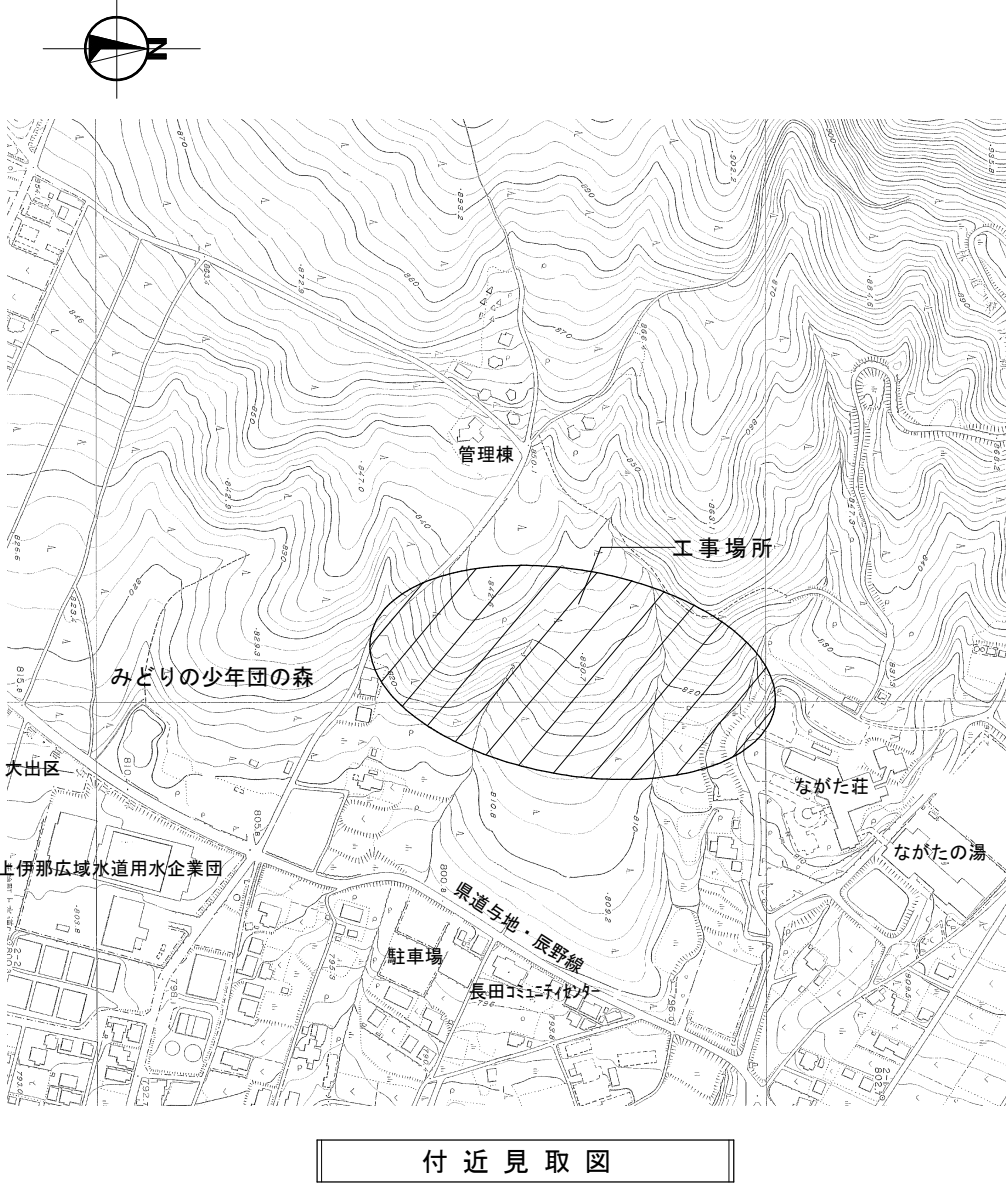
平成26年度
ながた自然公園リニューアル工事

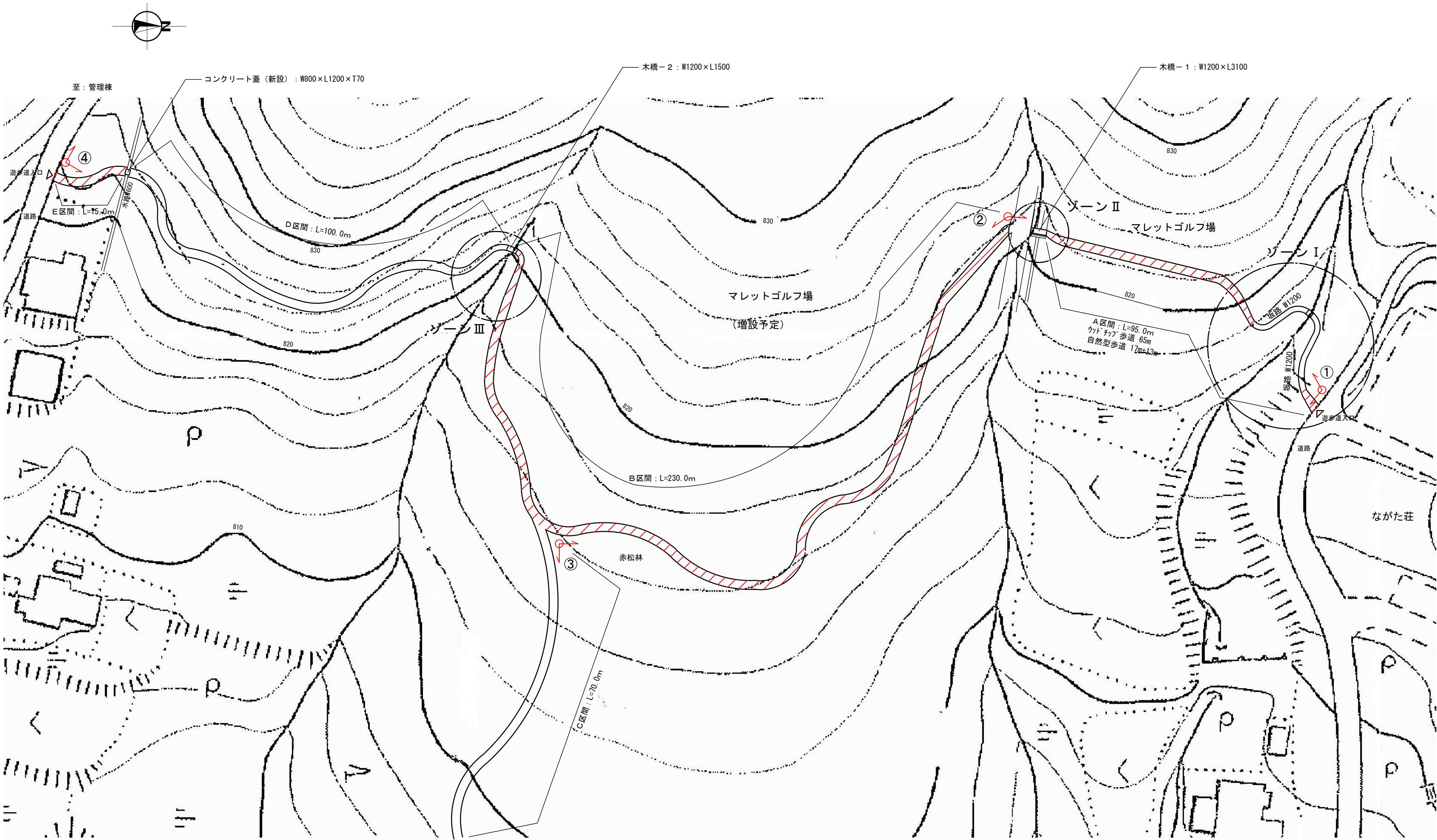
【遊歩道設置工事】

設 計 図

箕 輪 町

平成26年度　ながた自然公園リニューアル工事 （遊歩道設置工事）			章	項　目	特　記　事　項	
I　工事仕様			4	第1節　総　則	1－1－1施工計画書 1. 請負者は、工事着手前に工事目的物を完成させるために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。 請負者は、施工計画を遵守し工事の施工に当たらなければならない。 この場合、請負者は、施工計画書に次の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、請負者は維持工事等簡易な工事及び2,500万円未満の工事においては監督員の承諾を得て記載内容の一部を省略することができる。 1－1－2　工事用地等の使用 1. 請負者は、本工事の施工に伴う任意の仮設備（現場事務所、資材置き場、工事用通路等）の設置のために、農地又は採草放牧地（以下「農地等」という。）を借地する場合は次のとおりとする。 (1)農地等が租税特別措置法による納税猶予等の対象となっているときは仮設予定地としてはならない。 (2)請負者は、登記簿等の農地等に関する資料を収集し、監督員と協議するものとする。資料収集に要する費用は、本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (3)農地等の借地権は県が取得することとするが、その契約に要する費用及び賃貸料は本工事の請負代金から請負者が負担するものとする。 (4)農地等は必ず原状に回復し、農地等所有者に返還するものとする。 1－1-3　工事の下請負 (1)請負者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を町内に本店を有する者の中から選定するよう努めること。 1－1－4　工事中の安全確保 1. 請負者は、工事施工箇所に占有物件等が予想される場合には、当該物件の位置、深さ等を調査し監督員に報告しなければならない。 また、施工の障害となる占有物件がある場合は、占有者とその処置について打ち合わせを行い、監督員に報告しなければならない。 2. 請負者は、工事の施工により河川管理施設、道路付属物及び占有物件に損傷を与えた場合には、直ちに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、補修しなければならない。 3. 請負者は、工事区域内で占用工事等と競合する場合には、必要に応じ工程等について打ち合わせを行い、両者協力のもとに工事の円滑化と事故防止を図らなければならない。 なお、工事中の責任範囲を明確にしておかなければならない。 1－1－5　交通安全管理 現場において交通誘導業務を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員又は二級検定合格警備員を一人以上配置するよう努めることとする。 なお、有資格者の配置ができない場合は、警備業法に基づく所定の教育を受けた者をこれに代えることができることとする。 1－1－6　諸法令の遵守 1. ダンプトラック等による過積載等の防止については次のとおりとする。 (1)積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。 (2)過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 (3)資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等に当たっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (4)さし枠装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。 (5)過積載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長することのないようにすること。 (6)取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、又はさし枠装着車、不表示車等を土砂等運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。 (7)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下法という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (8)下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 (9)(1)～(8)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。	
1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成25年版）」（以下、「標仕」という。）及び「公共建築木造工事標準仕様書(平成25年版)」による。 (2) 同じく、土木工事については、長野県建設部監修の「長野県土木工事共通仕様書（最新版）」及び「長野県土木工事施工管理基準(最新版)」による。 2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に ○ 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、◎ 印の付いたものを適用する。 ○ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。 (4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。 (5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。 (6) ☒ 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。						
章	項　目	特　記　事　項				
1 建 築 一 般 共 通 事 項	①　適用基準等	・ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修　最新版） ・ 工事写真の撮り方（改訂第二版）建築編（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）				
	②　発生材の処理等	※現場説明書による　○・構外搬出適切処理（1.3.8）				
	③　排出ガス対策建設機械の使用	排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用する。				
	④　事故報告	工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通報するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。				
	⑤　工事写真	・ 「営繕工事電子納品要領（案）（最新版）」による。				
2 仮 設 工 事	①　現場事務所	※設ける　規模は1 0 m程度とし、仕上げは共通仕様書2.3.2標準程度とする。　（2.3.1） ・ 設けない　既存建物利用				
	②　工事用水	構内既存の施設　※利用できない　○・利用できる（※有償　・無償）（2.3.1）				
	③　工事用電力	構内既存の施設　※利用できない　・利用できる（※有償　・無償）（2.3.1）				
3 土 工 事	①　埋戻し及び盛土	種別　・ A種　※B種　・ C種　・ D種（3.2.3）（表3.2.1） ・ 建設汚泥から再生した処理土　☒				
	②　建設発生土の処理	※現場説明書による　・ 構外搬出適切処理（3.2.5） ・ 構内指示の場所にたい積　○・構内指示の場所に敷き均し				





凡 例

遊歩道①: ウッドチップ歩道

遊歩道②: 自然型歩道

※遊歩道の沿道両側1m部分、下草刈施工

看板(木製誘導柱)①~④
※矢板の取付方向は現場調整指示

PROJ. NAME 平成26年度 ながた自然公園リニューアル工事 設計図

箕輪町



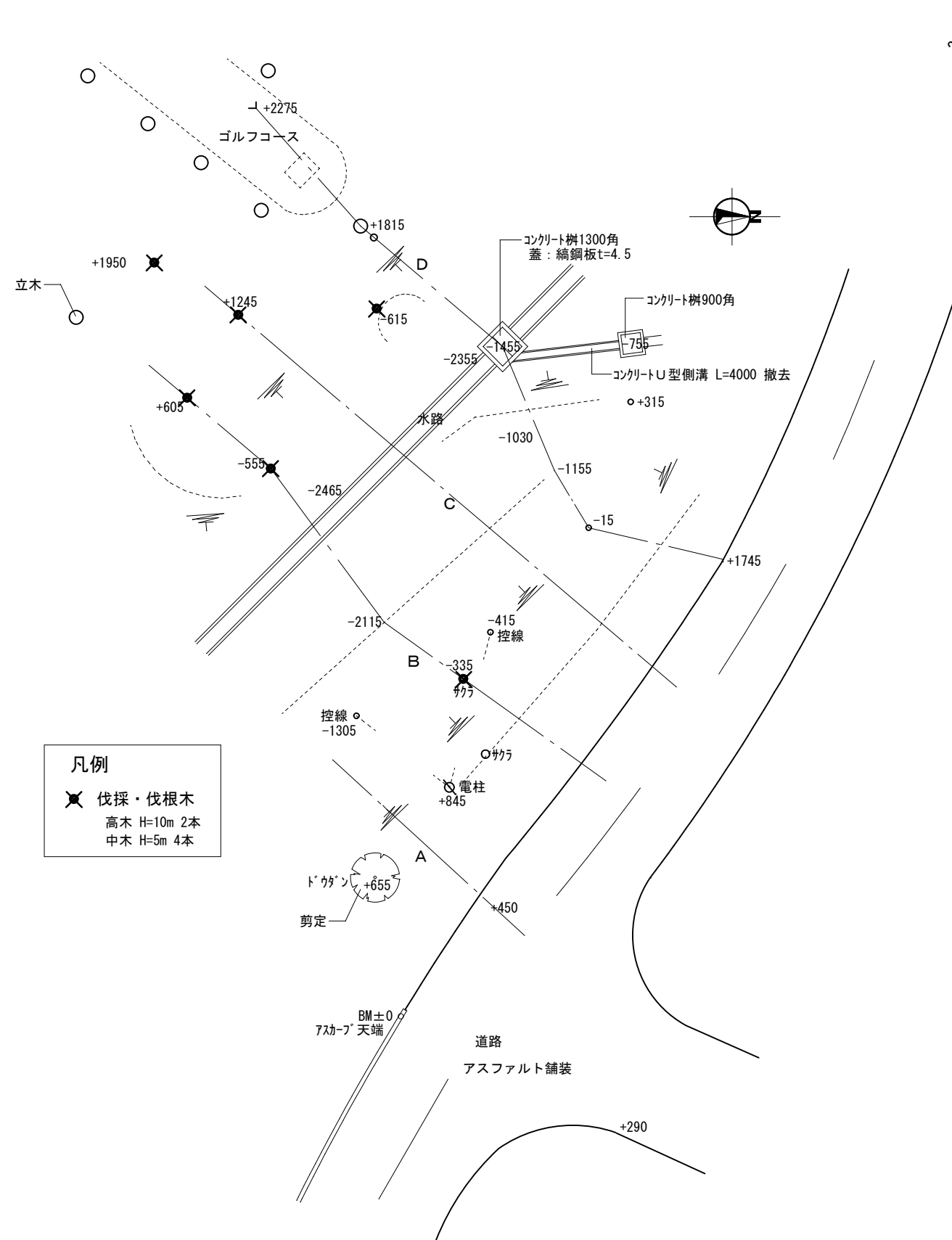
株式会社 アース 下 平 設 計 開設者 下 平 文 隆
一級建築士事務所登録 第 (上伊) C-73122 一級建築士登録第194385号 下 平 浩 市

date 2014-10
check designer
F. S K. Shimodaira

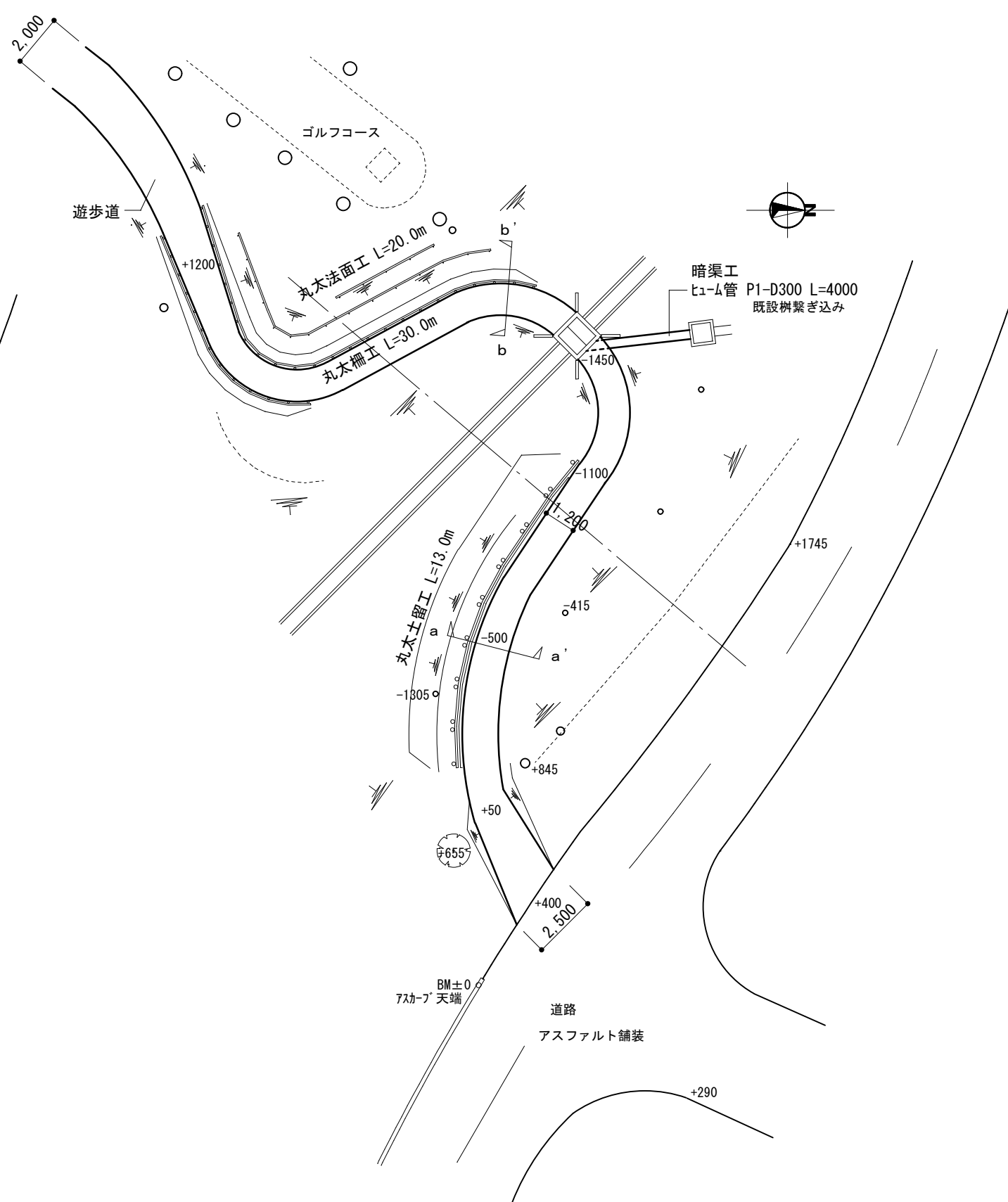
DESIGN 遊歩道設置 配置図

SCALE 1/600

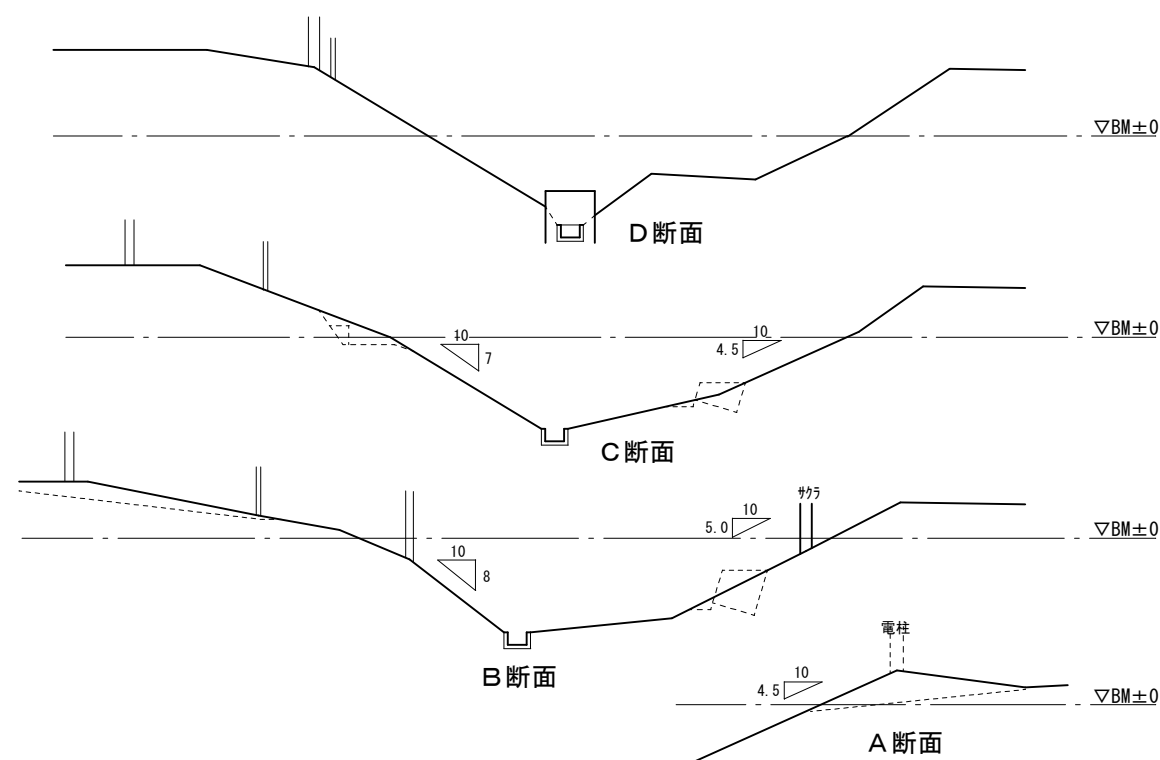
No. A
2



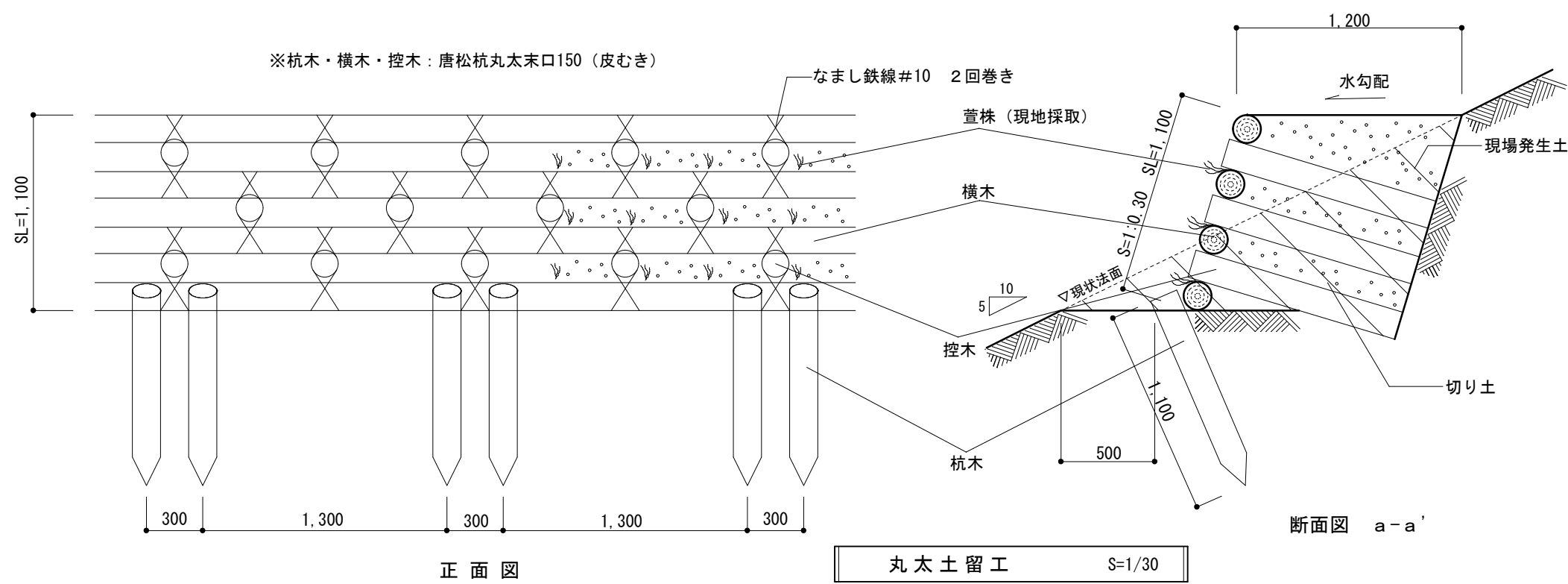
配置図（現況・撤去） S=1/200



配置図（整備後） S=1/200



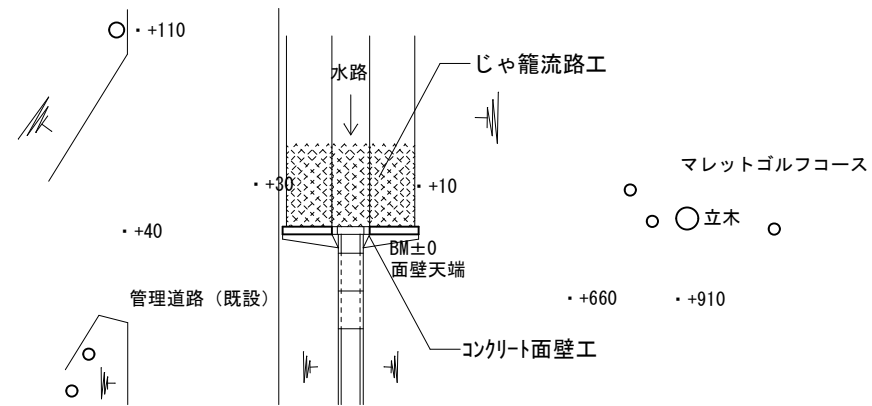
横断面図（現況） S=1/200



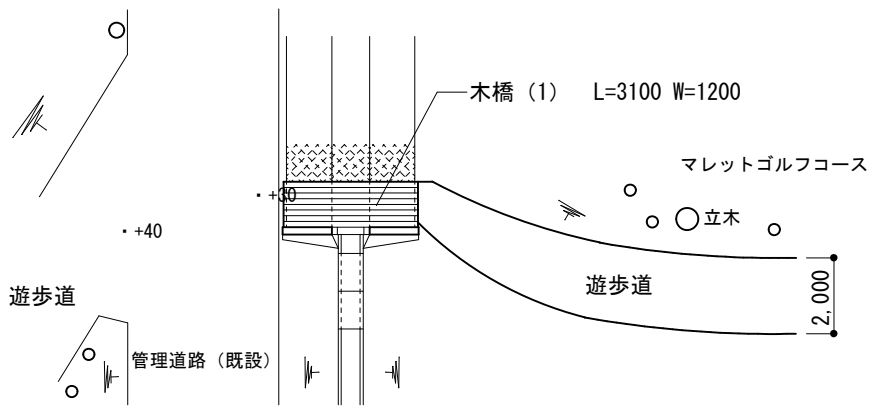
正面図

丸太土留工 S=1/30

断面図 a-a'



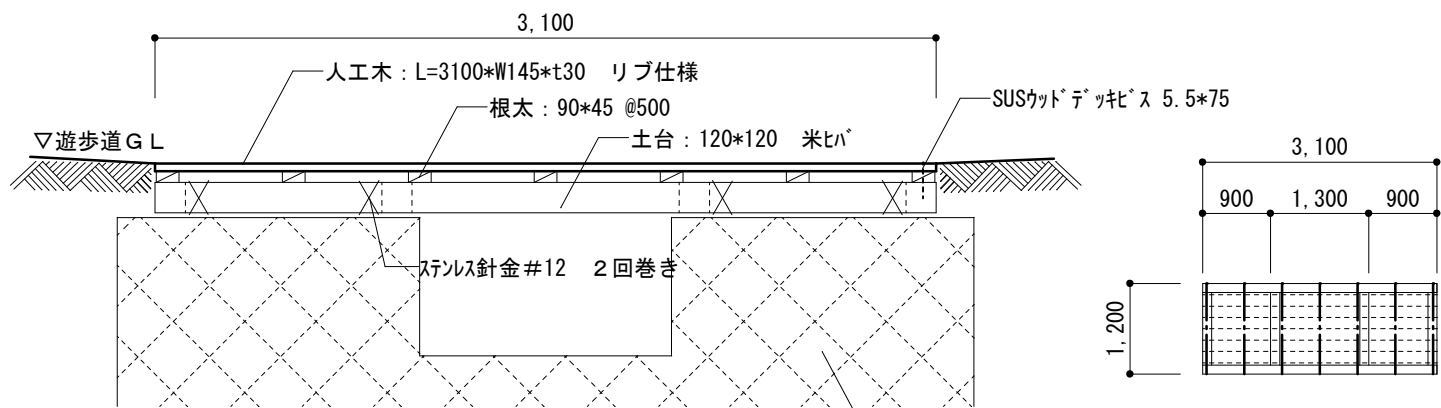
現況



整備後

配置図【ゾーンⅡ】

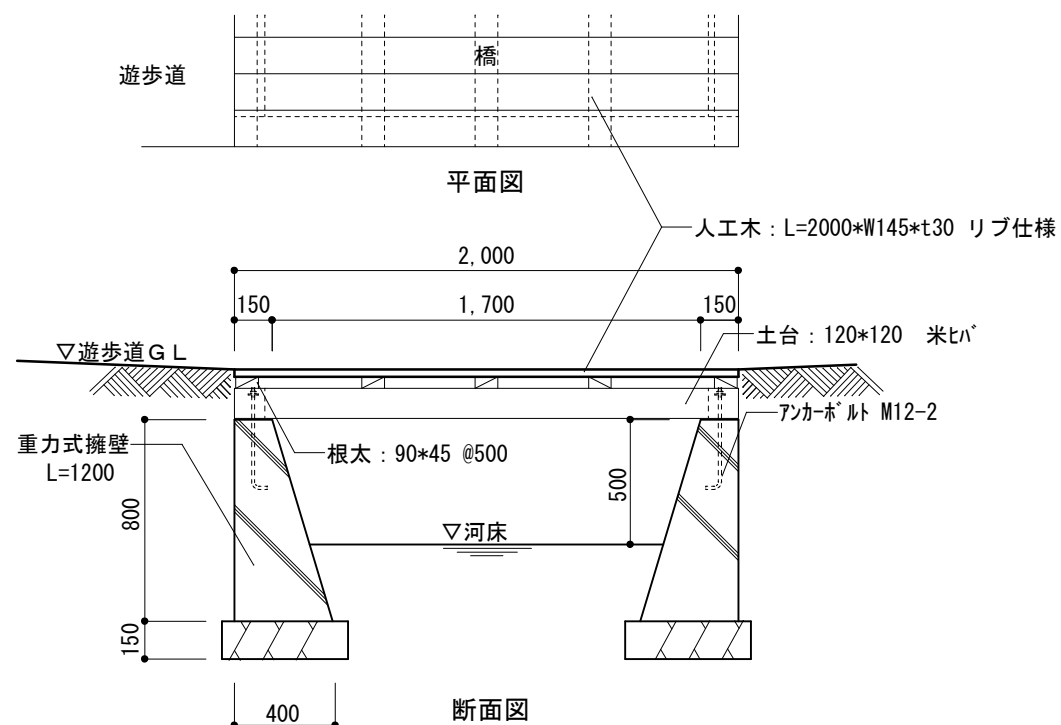
S=1/200



断面図 S=1/30

床伏図 S=1/100

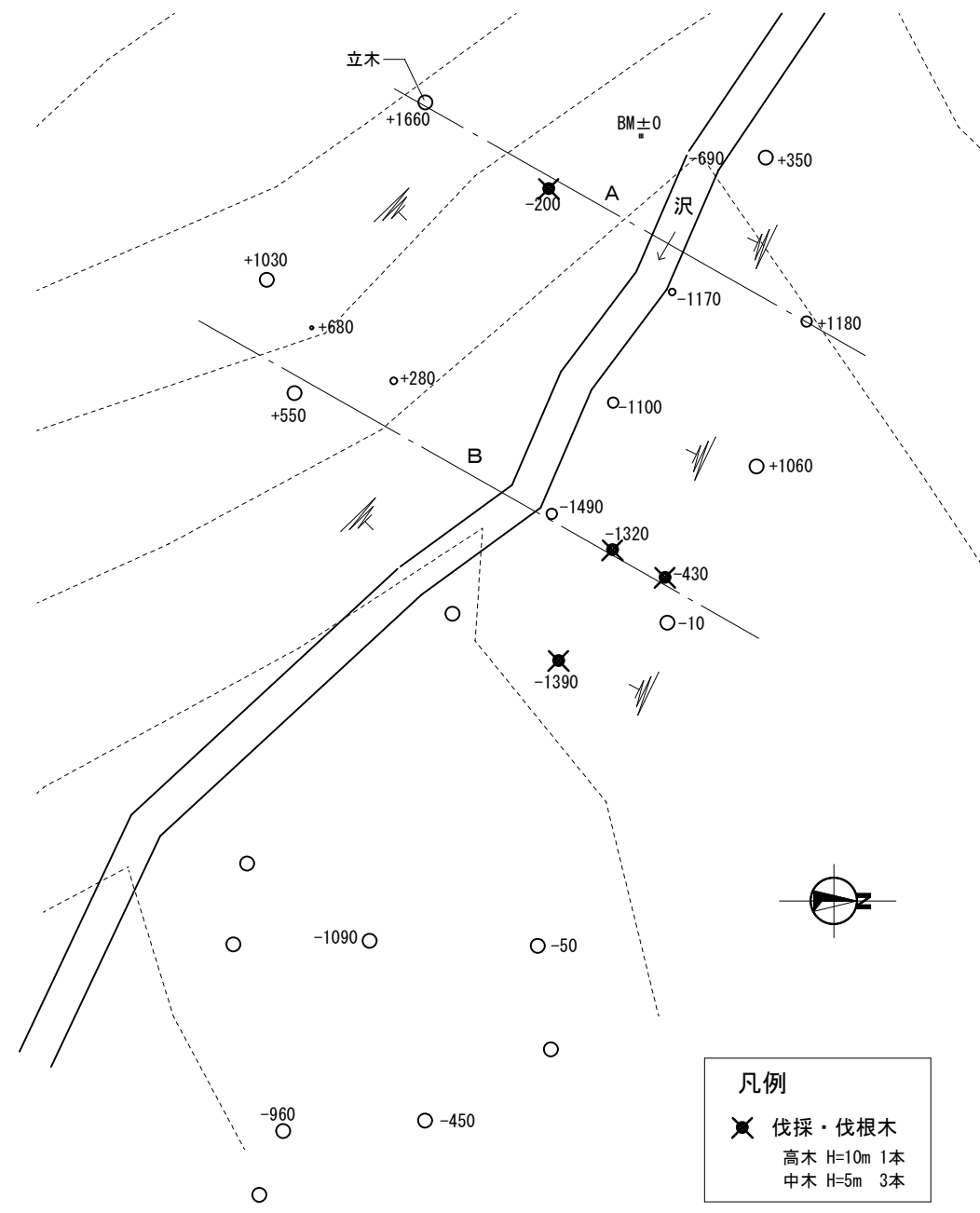
木橋 (1) 詳細図



断面図

木橋 (2) 詳細図

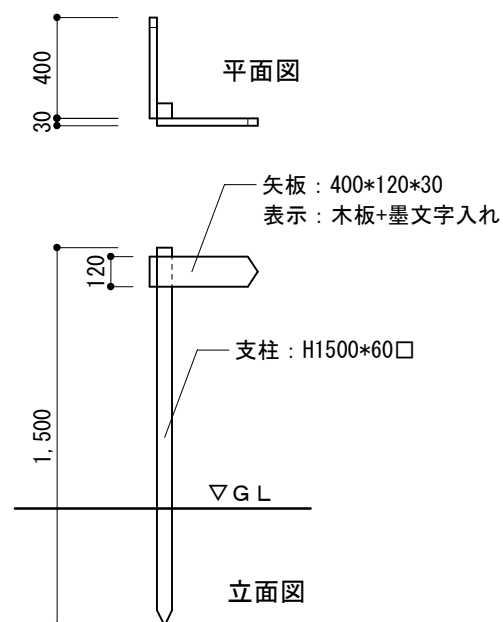
S=1/30



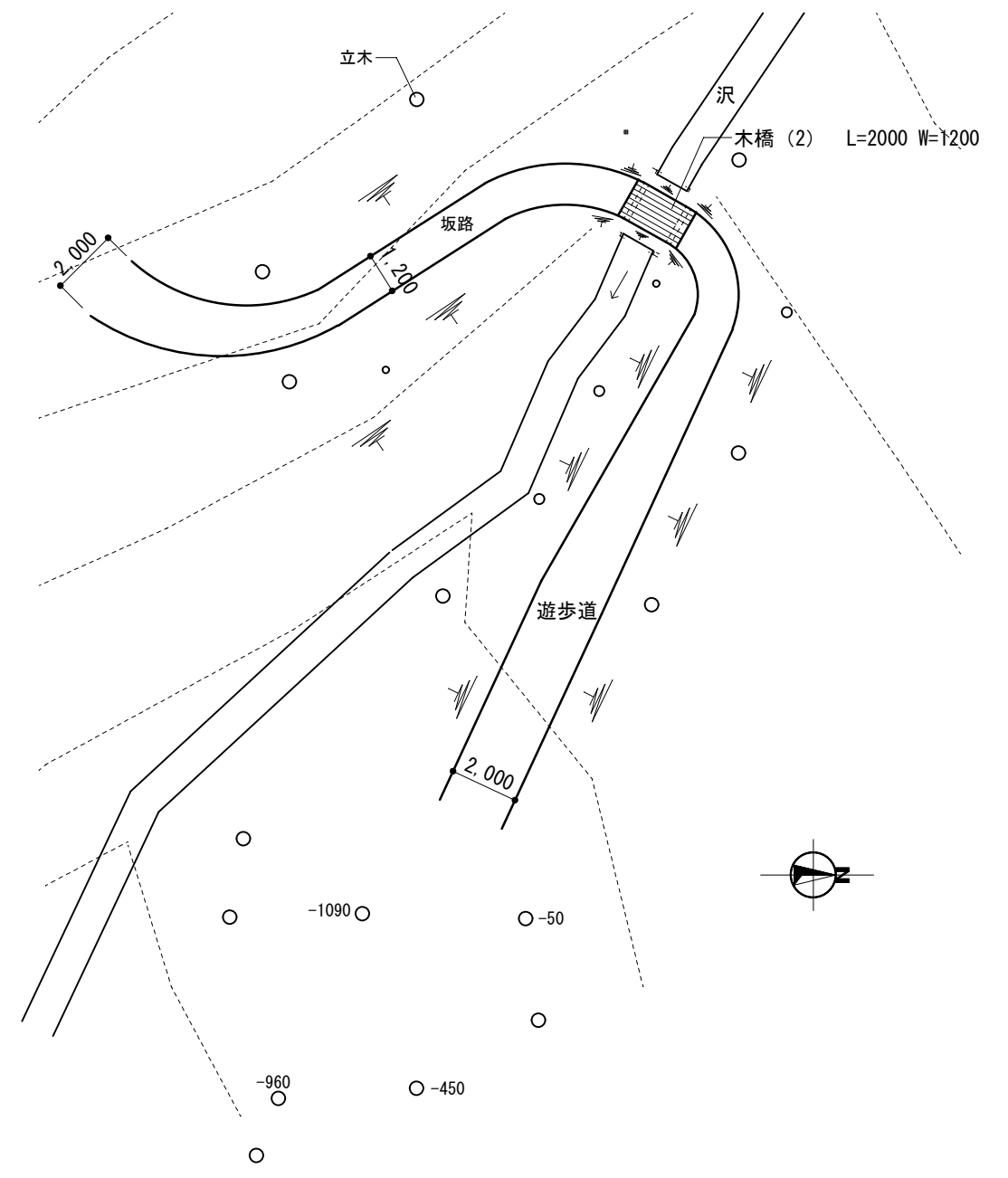
現況・撤去

配置図【ゾーンⅢ】

S=1/200



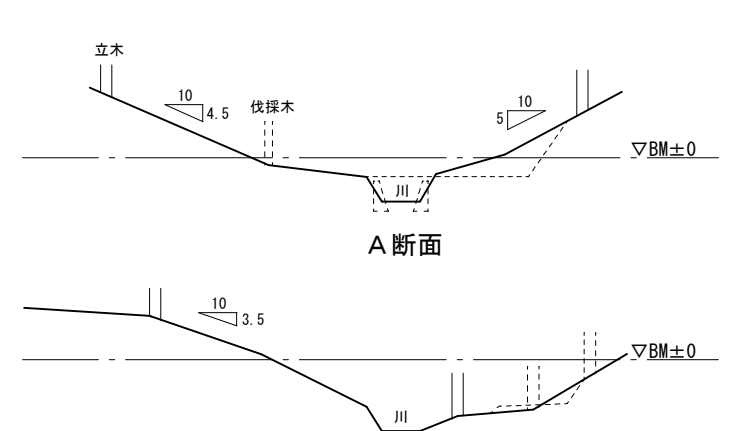
看板 (誘導柱) S=1/30



整備後

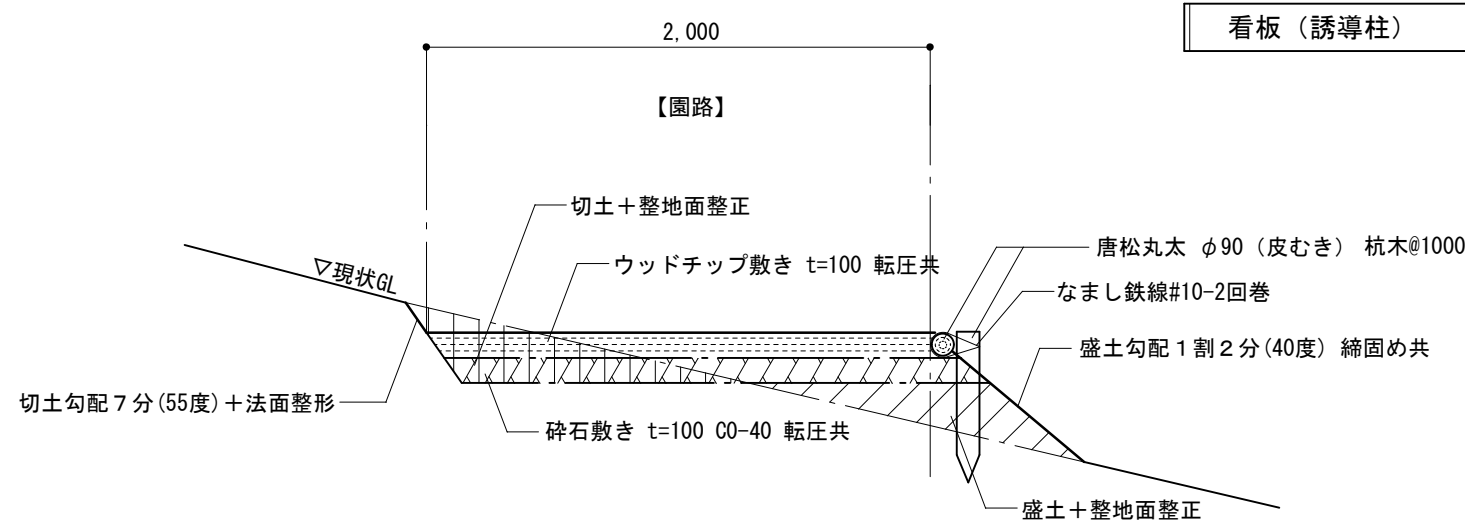
配置図【ゾーンⅢ】

S=1/200



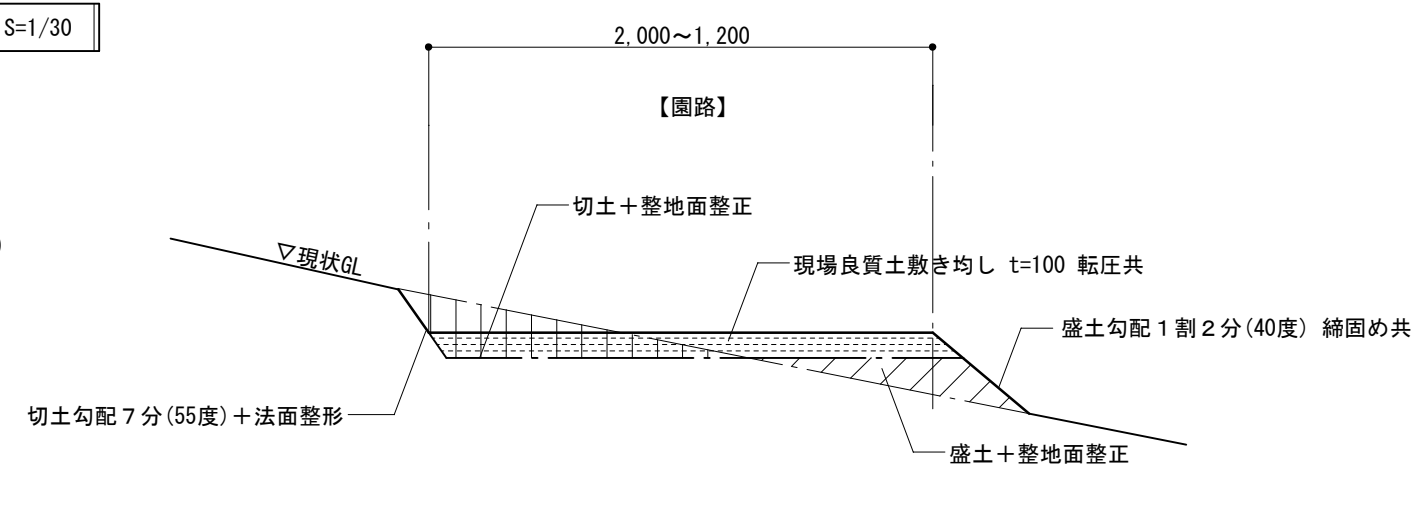
断面図

横断面 (現況) S=1/200



園路工【ウッドチップ】

S=1/30



園路工【自然土】

S=1/30